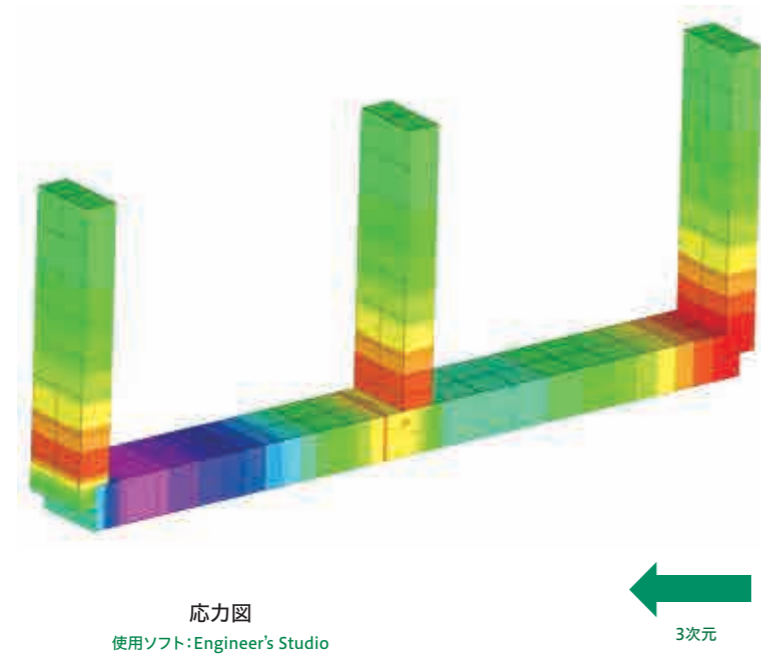


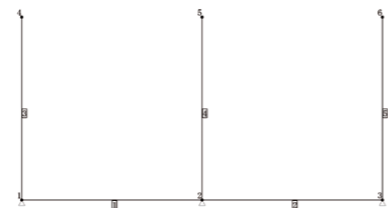
土木構造物や複合構造物の耐震診断

1 土木構造物

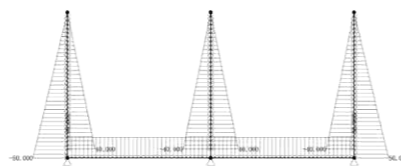
土木構造物の代表的なものとして、配水池などの水槽構造物等があります。土木構造物の耐震診断では、各施設の構造物の特徴に応じたモデル化を行い、その後、各規準に応じて診断を行います。



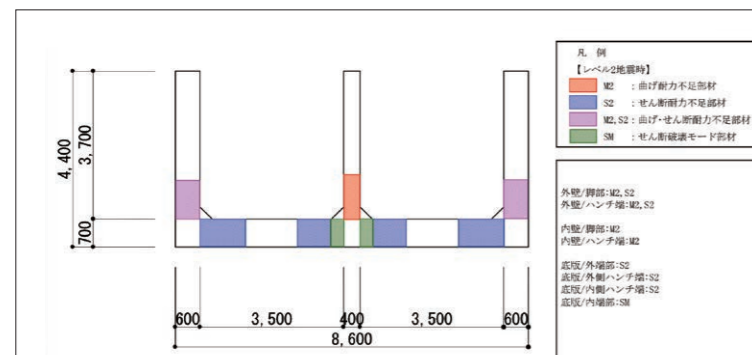
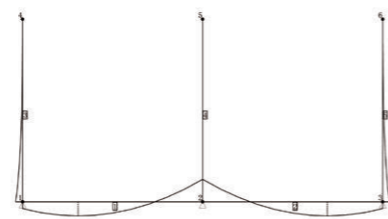
モデル化



外力

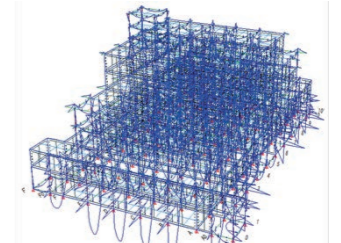
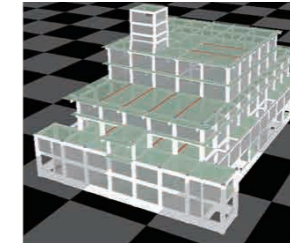


2次元



2 複合構造物

複合構造物の耐震診断の場合は、建築基準と土木規準をそれぞれ満足しなければならないことが特徴です。建築階においては階単位で診断を行うのに対し、土木階においては1本の柱、1本の梁というように各部材に対して診断を行います。



3 現地調査

現地調査は、直接現地に赴いて、建物の現況を調査するもので、主に敷地内および周辺の状況の調査や目視による柱・梁・壁の断面寸法および位置、壁の開口寸法、増改築による壁や開口の変更等の図面照合を行います。



4 補強工法

耐震性能を確認し、曲げ耐力不足となった場合にはその箇所にコンクリートの増打ち補強を、せん断耐力不足となった場合にはあと施工せん断補強筋による補強を行います。



ひび割れせん断破壊を起こす



地震発生時



あと施工せん断補強筋により、せん断破壊を防止

